

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業 NEALリーダー&ボランティア養成研修

平成29年9月16日(土)～18日(月・祝)

【対象】 自然体験活動に興味のある18歳以上の方  
【場所】 国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

自然体験活動指導者認定制度における養成カリキュラム(概論I)に基づいた講習会を実施し、自然体験活動指導者(NEALリーダー)を養成することで、自然体験活動の推進に寄与する。【NEALリーダー養成】

青少年の体験活動を支援するボランティアに求められる知識・技能を取得するとともに、ボランティア活動の意欲を高める。【ボランティア養成】

### ～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

### ～活動日程～

月日	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
9月16日(土)	法人ボラ				受付	開講式 青少年教育施設の現状と運営(職員)	青少年教育施設におけるボランティア活動	昼食	ボランティア活動の意義(講師) 1.5h	休憩	ボランティア活動の技術 野外炊飯 4h		青少年教育施設におけるボランティア活動(先輩ボラ)	入浴			消灯・就寝
	ニールリーダー					1h	0.5h			受付	自然体験活動の技術 野外炊飯		休憩(入浴可)				
9月17日(日)	法人ボラ	起床・洗面	朝のつどい	朝食	安全管理 救急救命講習 3h		昼食	青少年教育の理解(講師) 1.5h		青少年教育施設におけるボランティア活動							
	ニールリーダー				自然体験活動の安全管理 救急救命講習			青少年教育における体験活動	対象者理解(講師) 1.5h	青少年教育施設におけるボランティア活動(法ボラ取得者)	休憩	ガイダンス(講師) 1.5h	夕食	入浴			消灯・就寝
9月18日(祝)	ニールリーダー	起床・洗面	朝のつどい	朝食	清掃・荷物整理	自然体験活動の特質(講師) 3h	昼食	自然体験活動の技術(講師) 2h	自然体験活動の指導(講師) 1.5h			認定試験	閉講式	解散			
		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00

### ～参加者～

26名(男性10名 女性16名)(大学生23名 社会人3名)(長野県25名 山梨県1名)

～活動トピックス～

V：ボランティア養成

N：NEALリーダー養成

### 講義1 V【青少年教育施設の現状と運営】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 ボランティアコーディネーター  
青少年教育施設の教育機能や役割や運営について理解を深めた。



### 講義2 V【青少年教育施設におけるボランティア活動】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 ボランティアコーディネーター  
青少年教育施設でのボランティア活動について理解を深めた。

### 講義3 V【ボランティア活動の意義】

講師：公益財団法人ハーモニセンター評議員 本木 光史 氏  
社会貢献活動の意義やボランティア活動の定義などを学んだ。  
また、ボランティア活動における心構えやポイントについてお話があり、実際に活動を行う際の留意点について理解を深めた。



### 実習1 V【ボランティア活動の技術】 N【自然体験活動の技術】 (野外炊飯)

講師：国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職  
体験活動の中で取り入れられることの多い野外炊飯を実際に行った。  
初めにKYT（危険予知トレーニング）を行ったことにより、実際に指導する際の留意点を学ぶことができた。



### 講義4 V【青少年教育施設におけるボランティア活動】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 法人ボランティア  
自然の家で活動する先輩ボランティアから、実際の活動やボランティアの有用性など、自然の家での活動について話を聞いた。



### 実習2 V【安全管理】 N【自然体験活動の安全管理】(救命救急講習)

講師：上伊那広域消防本部 職員  
国立信州高遠青少年自然の家 職員（応急手当普及員）  
緊急時に備えた心肺蘇生法とAEDの使い方について学ぶとともに、応急処置の方法について学んだ。受講者は万が一の時に備え、真剣に取り組んでいた。

### 講義5 V【青少年教育の理解】 N【青少年教育における体験活動】

講師：信州大学教育学部講師 瀧 直也 氏  
青少年教育の目的、体験活動の定義、青少年の現状と現代的課題、青少年の自然体験活動の取組の4点について、具体的な調査や報告書をもとにわかりやすく学ぶことができた。



### 講義6 N【対象者理解】

講師：信州大学教育学部講師 瀧 直也 氏  
対象者理解の目的と方法及び対象者への配慮事項について、発達段階に応じた特徴をもとに学ぶことができた。

## 講義7 V【青少年教育施設におけるボランティア活動】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 ボランティアコーディネーター

法人ボランティア登録制度について、登録の方法や活動を行う際の手続き等について理解を深めた。



## 講義8 N【ガイダンス】

講師：国立青少年教育振興機構広報官 蓮見 直子 氏

自然体験活動指導者の種類と役割及び養成カリキュラムについて資料をもとに学んだ。

## 講義・実技9 N【自然体験活動の特質】

講師：信州大学教育学部理事・副学長 平野 吉直 氏

自然体験活動の教育的意義について、「森のつながりさがし」と「林間色さがし」という実技を通して考えた。



## 講義・実技10 N【自然体験活動の技術】

講師：公益財団法人キープ協会環境教育事業部 増田 直広 氏

施設の林の中で実際に「葉っぱじゃんけん」や「自然素材メニュー」というゲームを行った。参加者は自然物を活用したゲームの多様性に驚くとともに、今後の指導に役立てられると喜んでた。

## 講義11 N【自然体験活動の指導】

講師：公益財団法人キープ協会環境教育事業部 増田 直広 氏

自然体験活動指導者としての心構えを具体例をもとに学んだ。

### ～参加者の声～

- ・分かりやすく、ためになる講義だったので、有意義な3日間だった。
- ・実習と講義とどちらかに偏ることもなく、ちょうどよい配分だった。この資格がどのような場で活用できるのかわかりやすかった。
- ・いつもの参加者としての視点ではなく、指導者の立場で学ぶことができよかった。
- ・安全管理についてロールプレイングも入れながら学ぶことができよかった。野外炊飯では各班に経験のある先輩がいて助かった。
- ・先輩ボランティアの話は、ボランティアの生の声が聞けてとても参考になった。ボランティア活動に興味を持つことができた。
- ・救急救命講習の講師がとても分かりやすく教えてくださった。今まで何回か受講したことがあるが、一番わかりやすかった。
- ・講師の先生ご自身の経験を踏まえて話してくださったので、とても面白くまたわかりやすかったです。

### ～成果と課題～

- 該当者全員が法人ボランティア登録とNEALリーダー登録を行った。それぞれの資格の有用性と今後の活用法をよく理解した成果といえる。
- 講師の先生方の話や実技の内容が参加者にとても好評であった。今後も各分野に造詣の深い有識者に講師をお願いしたい。
- 最終日の終了時刻が遅すぎた。効率よくカリキュラムを組み、もう少し早く終了できるようにしたい。
- 今回、ボランティア養成研修のみの参加者はいなかった。ボランティア養成研修を受ける人はNEALリーダー養成研修も受けることを必須にすることも考えたい。